



令和6年度

筑後川下流右岸農地防災事業
施工技術検討業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
筑後川下流右岸農地防災事業所

事業名：筑後川下流右岸農地防災事業
業務名：施工技術検討業務

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業				
業務名	施工技術検討業務				
業務別業務名:施工技術検討業務					
名 称(規 格)	数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
直接人件費				5,310,000	
・直接人件費	1.000	式		5,310,000	
・・・資料の検討	1.000	式		169,000	
・・・ 資料の検討	1.000	式	169,000	169,000	1 式当たり
S63003 資料の検討	1.000	式	169,000	169,000	歩A・単A S単 1号
合 計				169,000	
・・・課題分析	1.000	式		4,197,000	
・・・ 1 鋼矢板の動態観測等検証	1.000	式	2,906,000	2,906,000	1 式当たり
S63003 1-2解析計画書の作成	1.000	式	388,400	388,400	歩A・単A S単 2号
S63003 1-3動態観測データと外水位データ等の整理・分析	1.000	式	1,122,400	1,122,400	歩A・単A S単 3号
S63003 1-4仮設工の安定性評価と今後の対応等の取りまとめ	1.000	式	1,395,600	1,395,600	歩A・単A S単 4号
合 計				2,906,400	
・・・ 2 事業効果編集	1.000	式	1,291,000	1,291,000	1 式当たり
S63003 2-1事業PRのための規格・制作方針の策定	1.000	式	273,200	273,200	歩A・単A S単 5号
S63003 2-2シナリオ構成の決定	1.000	式	293,000	293,000	歩A・単A S単 6号
S63003 2-3ナレーションの作成	1.000	式	362,600	362,600	歩A・単A S単 7号
S63003 2-4動画等の編集	1.000	式	362,600	362,600	歩A・単A S単 8号
合 計				1,291,400	
・・・点検とりまとめ	1.000	式		312,000	
・・・ 点検とりまとめ	1.000	式	312,000	312,000	1 式当たり
S63003 1-1点検とりまとめ	1.000	式	311,600	311,600	歩A・単A S単 9号
合 計				311,600	
・・打合せ	1.000	式		355,000	
・・・ 打合せ	1.000	式	261,000	261,000	1 式当たり
S63010 打合せ 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.25日	2.000	回	91,350	182,700	歩A・単A S単 13号
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.25日	1.000	回	78,150	78,150	歩A・単A S単 14号
合 計				260,850	
・・・ 設計基準日額 現地調査	1.000	式	94,000	94,000	1 式当たり
S63007 現地調査	1.000	式	93,940	93,940	歩A・単A S単 11号
合 計				93,940	
・・・課題分析	1.000	式		277,000	
・・・ 鋼矢板の動態観測等検証	1.000	式	277,000	277,000	1 式当たり
S63007 1-1現地調査	1.000	式	277,100	277,100	歩A・単A S単 12号
合 計				277,100	

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業					
業務名	施工技術検討業務					
業務別業務名:施工技術検討業務						
コード	名 称(規 格)	数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
S63003	*** S 単 - 1号 *** 資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	169,000		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 2号 *** 1-2解析計画書の作成 設計労務(直接人件費内業)		式	388,400		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 3号 *** 1-3動態観測データと外水位データ等の整理・分析 設計労務(直接人件費内業)		式	1,122,400		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 4号 *** 1-4仮設工の安定性評価と今後の対応等の取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	1,395,600		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 5号 *** 2-1事業P Rのための規格・制作方針の策定 設計労務(直接人件費内業)		式	273,200		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 6号 *** 2-2シナリオ構成の決定 設計労務(直接人件費内業)		式	293,000		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 7号 *** 2-3ナレーションの作成 設計労務(直接人件費内業)		式	362,600		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 8号 *** 2-4動画等の編集 設計労務(直接人件費内業)		式	362,600		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 9号 *** 1-1点検とりまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	311,600		歩A・単A
S63003	*** S 単 - 10号 *** 公開用成果品作成費 設計労務(直接人件費内業)		式	16,800		歩A・単A
S63007	*** S 単 - 11号 *** 現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	93,940		歩A・単A
S63007	*** S 単 - 12号 *** 1-1現地調査 設計労務(直接人件費外業)		式	277,100		歩A・単A
S63010	*** S 単 - 13号 *** 打合せ 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.25日		回	91,350		歩A・単A
S63010	*** S 単 - 14号 *** 打合せ(設計業務基準日額) 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.25日		回	78,150		歩A・単A
S63011	*** S 単 - 15号 *** 打合せ 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,2時間,100km L (100km以上)		回	5,467		歩A・単A
S63011	*** S 単 - 16号 *** 打合せ 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種,中間,通勤により打合せ,,,ライトバン,1日,2時間,100km L (100km以上)		回	5,467		歩A・単A
S63018	*** S 単 - 17号 *** 旅費交通費(現地調査) 旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン,1日,2時間		式	5,467		歩A・単A
S63023	*** S 単 - 18号 *** 電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 1, A - 4 ,600,8cm,0		式	8,345		歩A・単A

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業					
業務名	施工技術検討業務					
業務別業務名:施工技術検討業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S 単 - 1号 ***					
S63003	資料の検討		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				169,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		169,000	
	*** S 単 - 2号 ***					
S63003	1-2解析計画書の作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	3.000	人	38,400	115,200	
	合 計				388,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		388,400	
	*** S 単 - 3号 ***					
S63003	1-3動態観測データと外水位データ等の整理・分析		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	8.00人				
	7)技術員の人数	8.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師(A)	4.000	人	57,000	228,000	
R04005	技師(B)	4.000	人	47,200	188,800	
R04006	技師(C)	8.000	人	38,400	307,200	
R04007	技術員	8.000	人	33,600	268,800	
	合 計				1,122,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,122,400	
	*** S 単 - 4号 ***					

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業					
業務名	施工技術検討業務					
業務別業務名:施工技術検討業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	1-4仮設工の安定性評価と今後の対応等の取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	3.00人 6.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	6.00人 15.00人		深夜時間:0.0		
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	64,800	194,400	
R04004	技師(A)	6.000	人	57,000	342,000	
R04005	技師(B)	6.000	人	47,200	283,200	
R04006	技師(C)	15.000	人	38,400	576,000	
	合 計				1,395,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,395,600	
	*** S 単 - 5号 ***					
S63003	2-1事業P R のための規格・制作方針の策定 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.00人 2.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	2.00人 0.00人		深夜時間:0.0		
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
	合 計				273,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		273,200	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63003	2-2シナリオ構成の決定 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	1.00人 1.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	2.00人 2.00人		深夜時間:0.0		
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	2.000	人	38,400	76,800	
	合 計				293,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		293,000	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63003	2-3ナレーションの作成 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0		制約作業時間:0.0 冬期補正:なし			

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業					
業務名	施工技術検討業務					
業務別業務名:施工技術検討業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	4.000	人	33,600	134,400	
	合 計				362,600	1.000 式 算出数量
	単 価		式		362,600	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63003	2-4動画等の編集		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	4.00人				
R04004	技師(A)	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員	4.000	人	33,600	134,400	
	合 計				362,600	1.000 式 算出数量
	単 価		式		362,600	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63003	1-1点検とりまとめ		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師(A)	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師(B)	2.000	人	47,200	94,400	
R04006	技師(C)	1.000	人	38,400	38,400	
	合 計				311,600	1.000 式 算出数量
	単 価		式		311,600	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63003	公開用成果品作成費		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技師長の人数	0.00人				

事業名 筑後川下流右岸農地防災事業

業務名 施工技術検討業務

業務別業務名:施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04007	技術員	0.500	人	33,600	16,800	
	合 計				16,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		16,800	
	*** S 単 - 11号 ***					
S63007	現地調査		式			歩A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		冬期補正:なし		
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.70人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A) 外業	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師 (B) 外業	0.700	人	47,200	33,040	
	合 計				93,940	算出数量 1.000 式
	単 価		式		93,940	
	*** S 単 - 12号 ***					
S63007	1-1現地調査		式			歩A 1.000 式 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		冬期補正:なし		
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.50人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.500	人	64,800	97,200	
R04004	技師 (A) 外業	1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師 (B) 外業	2.000	人	47,200	94,400	
	合 計				277,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		277,100	
	*** S 単 - 13号 ***					
S63010	打合せ		回			歩A 1.000 回 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.25			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	日			冬期補正:なし	冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 着手前・最終		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	1.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	0.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.250日				
R04003	主任技師	0.750	人	64,800	48,600	
R04004	技師 (A)	0.750	人	57,000	42,750	

事業名 筑後川下流右岸農地防災事業

業務名 施工技術検討業務

業務別業務名:施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合 計				91,350	算出数量 1.000 回
	単 価		回		91,350	
	* * * S 単 - 14号 * * *					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種、中間、0.00人、1.00人、1.00人、0.00人、0.5日、0.25日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数	0.00人 1.00人		深夜時間:0.0		
	5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数	1.00人 0.00人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.250日				
R04004	技師(A)	0.750	人	57,000	42,750	
R04005	技師(B)	0.750	人	47,200	35,400	
	合 計				78,150	算出数量 1.000 回
	単 価		回		78,150	
	* * * S 単 - 15号 * * *					
S63011	打合せ		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種、着手前・最終、通勤により打合せ、ライトバン、1日、2時 間、100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	1人 1人		深夜時間:0.0		
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.25日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				
	13)高速道路往復料金(税別) 14)鉄道往復1人当料金(税別)	2,964円 0円				
	15)バス往復1人当料金(税別) 16)船舶往復1人当料金(税別)	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金(税別) 18)ライトバン使用日数	0円 1日				
	19)時間区分 20)往復移動距離区分	2時間 100km L (100km以上)				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		式	2,964	2,964	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン、二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	5.400	L	158	853	
	合 計				5,467	算出数量 1.000 回
	単 価		回		5,467	
	* * * S 単 - 16号 * * *					
S63011	打合せ		回		1.000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種、中間、通勤により打合せ、ライトバン、1日、2時間、100km L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	0人 1人		深夜時間:0.0		
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	1人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.25日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ ライトバン				

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業					
業務名	施工技術検討業務					
業務別業務名:施工技術検討業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	13)高速道路往復料金(税別)	2,964円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	1日				
	19)時間区分	2時間				
	20)往復移動距離区分	100km L (100km以上)				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		1.000	式	2,964	2,964
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		1.000	日	1,650	1,650
P34001	ガソリン JIS 2号 レギュラースタンド		5.400	L	158	853
	合 計				5,467	1.000 回
	单 価			回	5,467	
	*** S 单 - 17号 ***					
S63018	旅費交通費(現地調査)			式	1.000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業日帰用) ライトバン、1日、2時間				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0
	1)交通機関区分	ライトバン			豪雪補正:なし	冬期補正:なし
	2)高速道路往復料金(税別)	2,964円			基本給時間:8.0	並熱帶補正:なし 超勤時間:0.0
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円			深夜時間:0.0	
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	1日				
	8)時間区分	2時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	1.500日				
	11)設計用技師A外業日数	1.500日				
	12)設計用技師B外業日数	2.000日				
	13)設計用技師C外業日数	0.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		1.000	式	2,964	2,964
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		1.000	日	1,650	1,650
P34001	ガソリン JIS 2号 レギュラースタンド		5.400	L	158	853
	合 計				5,467	算出数量 1.000 式
	单 価			式	5,467	
	*** S 单 - 18号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成			式	1.000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 600, 8cm, 0				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)報告書部数(部)	1.000			豪雪補正:なし	並熱帶補正:なし
	2)規格区分	A - 4			基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	3)枚数区分(枚)	600			深夜時間:0.0	
	4)厚さ区分	8cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43438	報告書焼付代(コピ-) A - 4以下 600枚		1.000	部	7,650	7,650
P43543	簡易加除式ファイル A 4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)		1.000	冊	695	695
P43602	C D - R C D - R(記録面色素フタロシアニン) 700MB		0.000	枚	47	0
	合 計				8,345	算出数量 1.000 式
	单 価			式	8,345	
	*** S 单 - 19号 ***					

令和6年度 筑後川下流右岸農地防災事業
施工技術検討業務

特別仕様書

九州農政局
筑後川下流右岸農地防災事業所

第1章 総則

(適用範囲)

第1－1条

令和6年度筑後川下流右岸農地防災事業施工技術検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」によるほか、同共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1－2条

本業務は、国営筑後川下流右岸農地防災事業に基づくクリーク改修の実施に伴う仮設工の安定性を検証するとともに、事業効果のPR動画を作成するものである。

(場所)

第1－3条

本業務において対象とする地域は、佐賀県佐賀市、神埼市、神埼郡吉野ヶ里町、三養基郡みやき町地内で、別添図1の業務位置図に示すとおりである。

(低入札価格契約における第三者照査)

第1－4条

(1) 予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「設計業務共通仕様書第1-7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下、「第三者照査」という。）を実施しなければならない。

(2) 第三者の企業に要求される資格

- 1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当しないこと。
- 2) 九州農政局において、令和5、6年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の受付において申請を行い受理されている者で、開札時までに認定を受けていること。
- 3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
- 4) 設計業務共通仕様書第1-30条守秘義務を遵守できること。
- 5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

① 資本関係

- (ア) 親会社と子会社の関係にある
- (イ) 親会社と同じくする子会社同士の関係にある

② 人的関係

- (ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

(3) 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下のものであること。

- 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

(4) 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

(5) 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

(6) 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第4-1条業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

(7) 第三者照査の照査技術者 AGRIS 登録

設計業務共通仕様書第1-12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス(AGRIS)の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

(8) 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの（以下、「契約不適合」という。）であるときは、業務契約書第41条契約不適合責任のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することが出来るものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第1－6条

業務請負契約書及び各共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施のための土地立入り等は、設計業務共通仕様書第1-16条によるが、土地の踏み荒らし、立木伐採等に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。
なお、現地立入りにあたっては、監督職員と連絡を取った後、作業に着手するものとする。
- (2) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1－7条

- (1) 管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択項目は次のとおりである。

資 格	技 術 部 門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

- (2) 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第1－8条

担当技術者は、設計業務共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1－9条

設計業務共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び設計業務共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画

書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1－10条

受注者は、設計業務共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(貸与資料等)

第2－1条

貸与資料は、次のとおりである。

分類	貸与資料	数量
業務報告書	令和3年度 筑後川下流右岸農地防災事業 施工技術検討業務	1式
業務報告書	令和4年度 筑後川下流右岸農地防災事業 施工技術検討業務	1式
業務報告書	令和5年度 筑後川下流右岸農地防災事業 施工技術検討業務	1式
その他	その他必要な資料	1式

(貸与資料の取扱い)

H7 第2－2条

第2-1条に定める貸与資料の取り扱いは、次のとおりとする。

- (1) 貸与資料等で適用条件を選択する必要がある場合や貸与資料以外の基準を適用する場合は、監督職員の指示を受けるものとする。
- (2) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない
- (3) 貸与資料は、厳重に保管するとともに、複写等の行為は禁止する。

(関連工事)

第2－3条

本業務との関連する工事は次のとおりであり、監督職員及び関連工事の受注者と連携を密にして行うものとする。

工事名	工事実施期間	関連作業項目
令和5年度筑後川下流右岸農地防災事業 徳永線（早津江その2工区）工事	令和6年3月11日から 令和6年9月30日まで	1. 鋼矢板の動態観測等検証

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙1の作業項目内訳表に示すものとする。

作業項目表

作業項目	数量	備考
I. 資料の検討	1式	
II. 課題分析		
1. 鋼矢板の動態観測等検証	1式	徳永線（2号）
2. 事業効果編集	1式	三田川線
III. 点検とりまとめ	1式	

(設計作業の留意点)

第3-2条

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりである。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-1条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 第3-1条のうち、II. 課題分析に当たっては、高度な専門的知識を有する研究機関・大学等の指導及び助言を受けて遂行するものとする。
- (4) 鋼矢板の動態観測等検証に必要な観測機器の配置等は関連工事の受注者が行うとともに併せて動態観測も行う。本業務では関連工事の受注者から提供のあった鋼矢板の動態観測データを基に、水路改修工事の施工時における鋼矢板の安定性を検証する。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3-3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参考すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものと/orする。

(2) 機器等の導入

- ① 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- ② 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- ① 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- ② 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記①に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案） 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

- ③ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4－1条

設計業務共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行う。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初回 業務着手の段階

第2回 中間打合せ（研究機関・大学等との意見交換）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条

成果物を設計業務共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R）正副2部
- (2) 成果物の出力1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(開示用成果物の作成及び提出)

第5-2条

第5-1条に記載している成果物（PDFファイル）に含まれる、行政機関の保有する情報の公開に関する法律における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

成果物を設計業務共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

なお、「不開示情報」とは、別紙2のとおりである。

- (1) 開示用成果物の電子媒体（CD-R等）1部

(成果物の提出先)

第5-3条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

佐賀県神埼市千代田町直鳥166-1

九州農政局筑後川下流右岸農地防災事業所

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合

- (3) 第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (4) 履行期間の変更が生じた場合
- (5) 関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合
- (6) その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7－1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙1

【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	対象数量	
		単位	数量
I. 資料の検討			
1-1. 資料の検討	各課題分析のための資料収集及び特別仕様書第2-1条の貸与資料等の内容を把握する。	式	1
II. 課題分析			
1. 鋼矢板の動態観測等検証			
1-1. 現地調査	課題分析に必要な現地調査を行う。	式	1
1-2. 解析計画書の作成	特別仕様書第2-3条の関連工事の施工計画や動態観測結果等を踏まえた解析計画書を作成する。	式	1
1-3. 動態観測データと外水位データ等の整理・分析	整理した動態観測データと発注者が提供する外水位を対比したグラフを作成するとともに、このグラフに特別仕様書の第2-3条の関連工事の工事実施状況の過程等も含め整理・分析する。	式	1
1-4. 水路改修工事における仮設工の安定性評価と今後の対応等のまとめ	上記の整理・分析結果を踏まえ、クリーク改修の実施に伴う仮設工の安定性評価と今後の対応方針等を考察し、とりまとめを行う。	式	1
2. 事業効果編集			
2-1. 事業PRのための企画・制作方針の策定	特別仕様書の第2-1条の貸与資料等既存のVR動画と当該事業計画等を踏まえた企画・制作方針を策定する。	式	1
2-2. シナリオ構成の決定	企画・制作方針の決定に基づき、シナリオを策定する。シナリオは、この業務の意図を充分表現できる内容のものでなければならない。	式	1
2-3. ナレーションの作成	シナリオ構成に基づき、映像だけでは表現が不十分な要素を解説文等で説明するため、実際の場面の長さに合わせたナレーション（解説）を作成する。	式	1
2-4. 動画等の編集	シナリオ構成に基づき、その内容を適宜かつ効果的に表現できるように構成するものとし、既存のVR動画の長さ、BGMや効果音、テロップや字幕、音量や音声、色調等の編集を行い、10分程度の短編動画（YouTube等）を作成す	式	1

		る。		
III.	点検とりまとめ			
1-1.	点検とりまとめ	上記の各項目の点検とりまとめ及び報告書の作成を行う。	式	1

別紙2

不開示とする情報	該当項目	該当条項
個人に関する情報 及び法人その他団体に関する情報	<p>記述等により特定の個人を識別することができる情報</p> <ul style="list-style-type: none">・ 受注者氏名・ 個人及び会社の印影・ 各種調査結果に記載された調査員等の氏名・ 打合せ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名・ 図面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等・ 顔写真・ 技術提案書等の当該法人の知的財産に関する情報・ IP アドレス等機器の接続情報・ その他（公にすることにより個人、会社の権利利益を害する恐れのある情報）	行政機関の保有する情報の公開に関する法律 第5条第一号及び第二号イ

令和6年度筑後川下流右岸農地防災事業
施工技術検討業務

業務位置図

